

NAKAJIMA TYPE-97 KATE



1/72 スケールシリーズ KIT No. JS-129

日本海軍97式艦上攻撃機



〔97式3号艦上攻撃機(97艦攻12型)について〕

96艦戦で戦闘機の単葉化に成功した日本海軍は、続いて艦上攻撃機の刷新を図り、昭和10年(1935年)中島と三菱に対して10試艦上攻撃機の試作要求を提示した。試作を受け持った中島の設計チームは、当時世界でもあまり例のない単葉の艦攻という難問にもおじけず、さらに単発機として日本初の引込み脚に挑戦して見事にまとめ上げ、昭和11年の大みそかに第1号機完成にこぎつけることができた。引込み脚のほかにも、日本初的主翼折りたたみ機構やセミインテグラル方式の燃料タンクなど斬新なアイデアを盛り込んだ本機は、固定脚で手堅い設計の三菱製機とともに軍の要求性能を大きく上回り、12年2月末以降3ヵ月におよぶ両社機の比較審査でも甲乙つけがたく、結局同年11月双方ともに採用されるという異例の処置となった。

97式1号艦上攻撃機(B5N1、のち11型と改称)と命名されて折からの日華事変に投入されたが、整備した中島製「光」エンジン(710馬力)の直径は胴体最大幅より大きく、機首がずんぐりふくらんでいた。昭和13年末に当初の計画通り同社の「栄」11型エンジンに換装、テストを行なったところ、基本設計時から栄エンジン装備を予定していたため、速度、視界などは採用向上し、14年12月97式3号艦攻(B5N2、のち12型)として正式に採用された。

昭和16年12月8日の真珠湾攻撃を皮切りに、零戦、99艦爆とともに

母艦機のトリオを組んで、珊瑚海にアメリカ空母レキシントンをしめ、ミッドウェーでヨークタウンを大破させ、南太平洋海戦ではホーネットを葬り去るなど、輝かしい殊勲を立てた。完成当時は列国の同級機に対し数年先を行くといわれた97艦攻も、昭和18年以降はさすがに各性能の衰えが目立ち始め、敵艦隊機に撃墜される機体も増加して、新鋭艦攻「天山」に主役の座を譲りわたした。だが、安定した性能と使い易さは多くの搭乗員から親しまれ、以後も多数機が実戦に参加している。昭和20年には特攻機としても使用されたが、終戦直前に参戦、北方海域へ進出したソ連艦隊を迎え撃ったのも本機であった。

97艦攻には1号、3号のほか練習機型の97式1号練習攻撃機があり、また電探(レーダー)を装備した3号艦攻も登場している。生産は中島(669機)のほか愛知、広工廠でも作られて、総生産数は1,250機に達している。なお、同時採用の三菱製機は97式2号艦攻(B5M1)という。〔97式3号艦上攻撃機データ〕

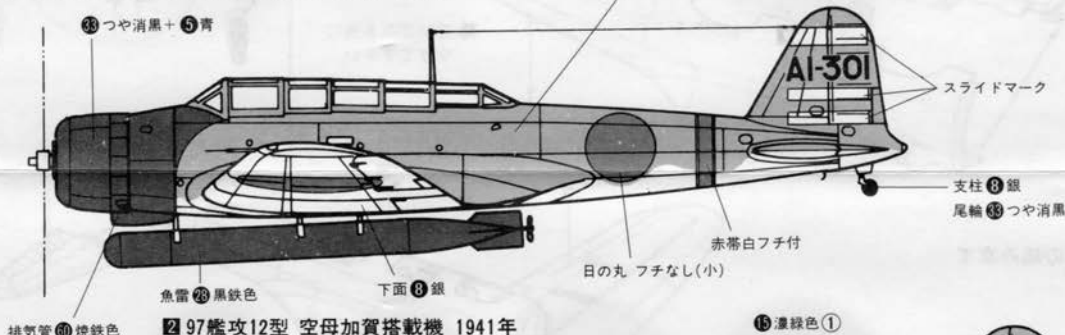
全幅: 15.518m(折りたたみ時7.3m)、全長: 10.3m、全高: 3.7m(折りたたみ時4.0m)、翼面積: 37.7m²、総重量: 3,800kg、発動機: 中島「栄」11型(970馬力)×1、最大速度: 377km/h/3,600m、巡航速度: 263km/h/3,000m、上昇時間: 3,000mまで7分40秒、実用上昇限度: 7,640m、最大航続距離: 1,993km(8時間)、武装: 7.7mm機銃(旋回)×1、800kg魚雷(爆弾)×1、乗員: 3名

Marking & Color Painting Guide

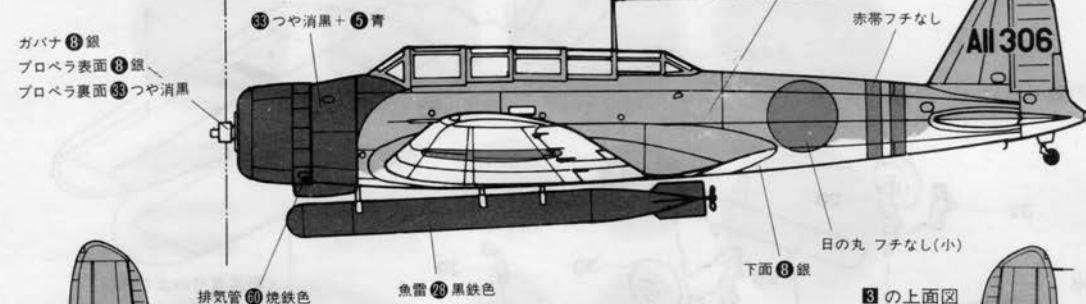
〈マーキング及び塗装参考図〉

1 97艦攻12型 空母赤城飛行隊長 淵田中佐機 1941年

①濃緑色①(ただし、はげ落ちがひどく迷彩の様に見える。)



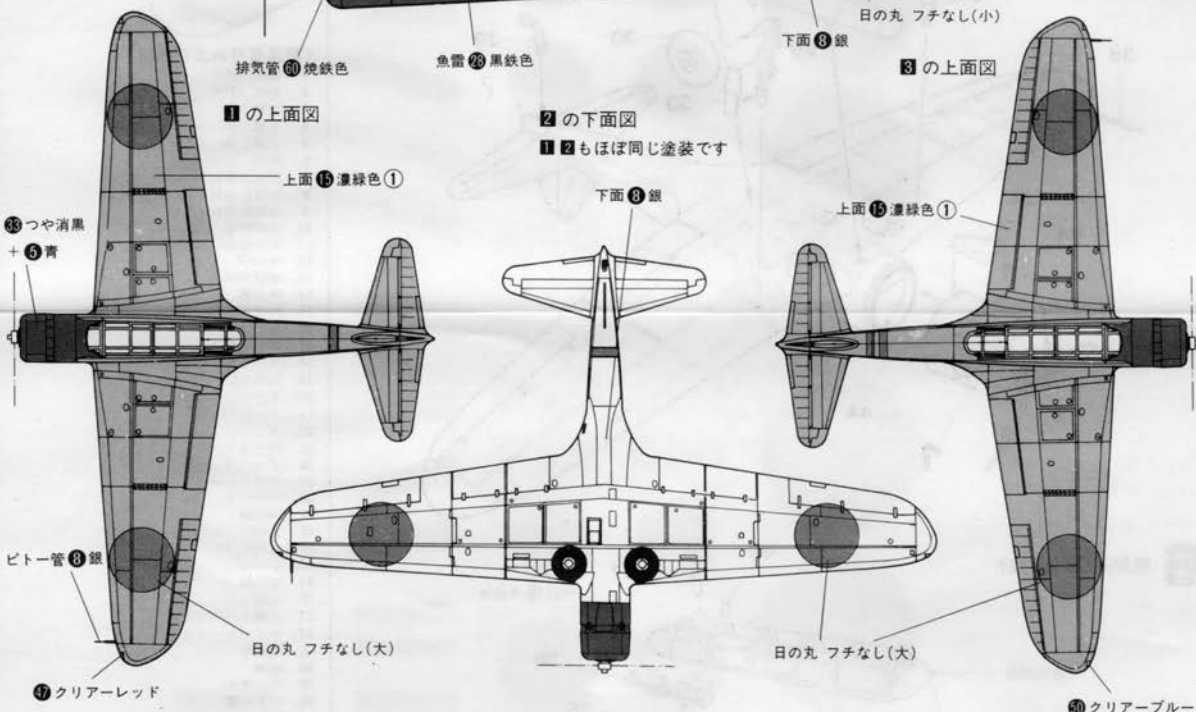
2 97艦攻12型 空母加賀搭載機 1941年



1の上面図

2の下面図

1 2もほぼ同じ塗装です



97艦攻の塗装について

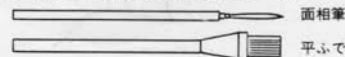
一般に97艦攻の塗装は上面濃緑色、下面灰白色、カウリングがカウリングブルーでした。しかし真珠湾攻撃の項にはそれ以前の標準塗装、全面銀に尾翼が赤、そしてカウリングブルーでは迷彩効果が期待できないため、上面に濃緑色を応急的に塗装しました。中には濃緑色と茶褐色の迷彩をしたものもありました。どちらも真珠湾攻撃まで毎日整備員がみがいでいるうちに地肌があちこち出てしまい、まるで銀と濃緑色の二色迷彩のようになってしまっていました。

スライドマークのはり方

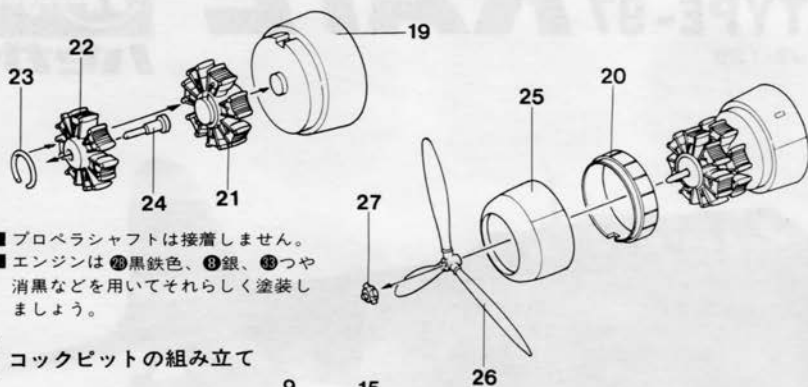
1. マークを台紙から切り抜き、まわりの透明な部分を切りとっておきます。
2. 水に20秒位浮かべてください。
3. マークを台紙からずらして所定の位置におき、台紙をずらして抜きとります。
4. マークの上からやわらかい布でおさえ、余分な水分と糊をおしだしてください。

モデルカラー

プラスチックモデルをより美しくするために各部品を塗装して下さい。①-⑩の番号はモデルカラーの番号です。筆は広い部分を塗る平筆と、小さな部分を塗る細筆を用意し、塗る部分によって使い分けましょう。

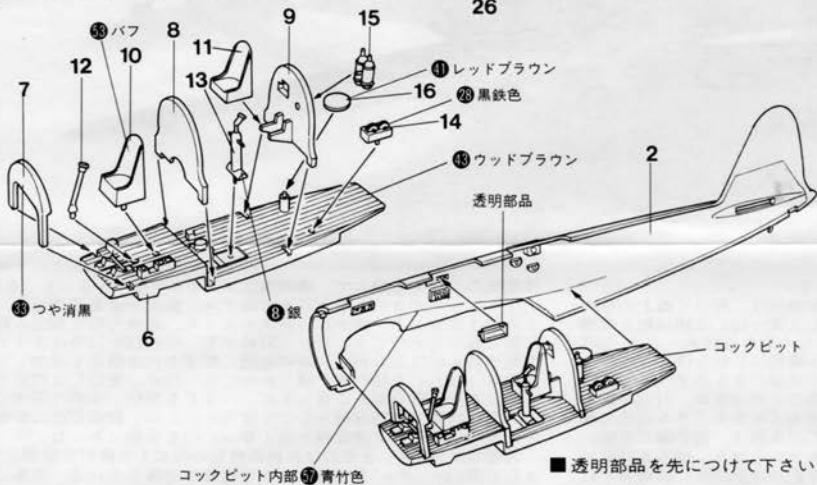


1 エンジンの組み立て

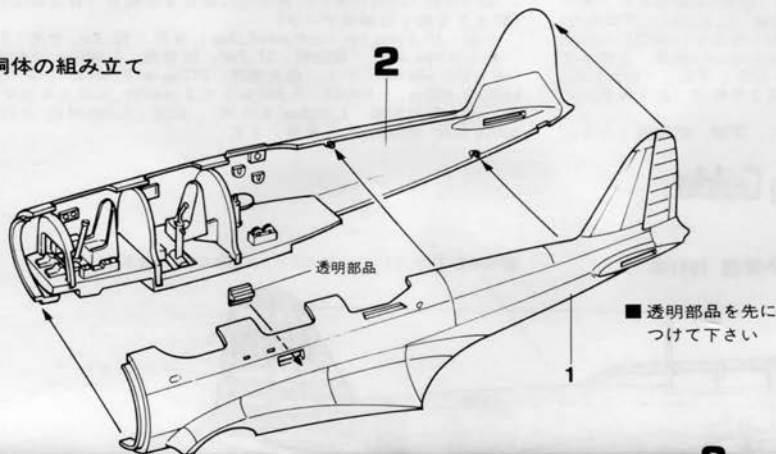


- プロペラシャフトは接着しません。
- エンジンは ⑫黒鉄色、⑬銀、⑭つや消黒などを用いてそれらしく塗装しましょう。

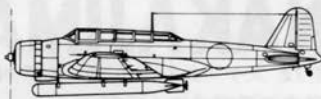
2 コックピットの組み立て



3 胴体の組み立て

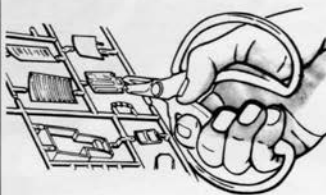


97式艦上攻撃機



★くみだてるまえに

- 説明書をよく見て、指示に従って作ってください。
- 部品をランナーから切りはずす時はニッパー又は、カッターを使ってください。
- 接着剤は組み立てる部品の両方に少しづつぬって接着して下さい。
- 接着する前にセロテープ等で仮に組んで形をたしかめて下さい。

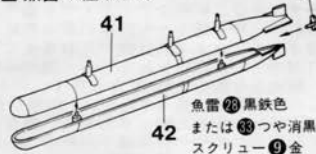


モデカラー

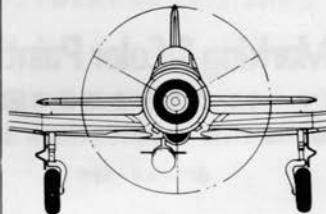
★ モデカラー

- ①～⑯の番号はモデルカラーの番号です。くみだてたらかならず色をぬってすばらしいモデルを作りましょう。

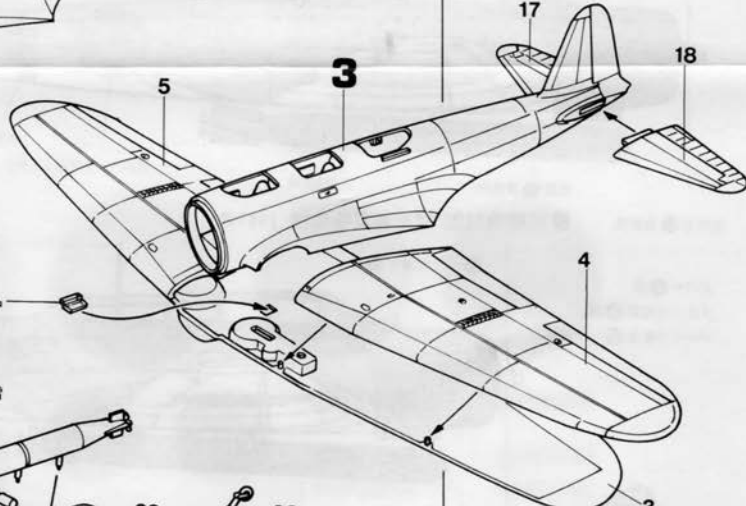
■ 魚雷の組み立て



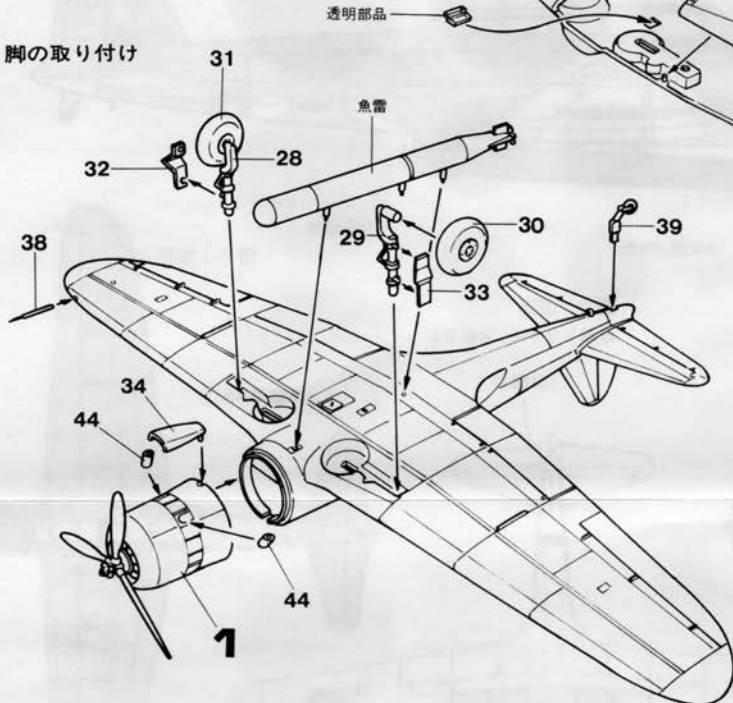
■ 魚雷及び脚柱取付参考図



4 主翼の組み立て



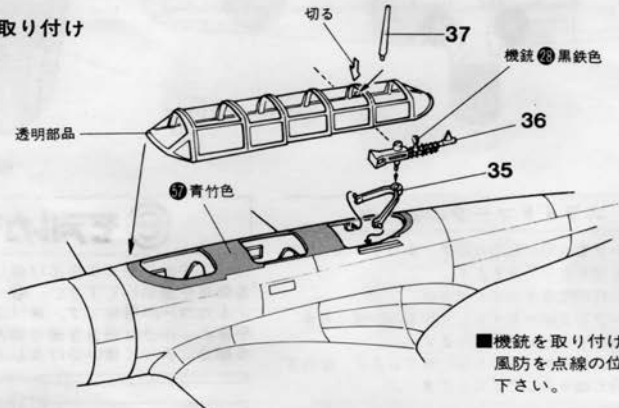
5 脚の取り付け



《部品番号および名称》

1. 胴体 (左)
2. 胴体 (右)
3. 主翼下面
4. 主翼上面 (左)
5. 主翼上面 (右)
6. 床板
7. 前部計器板
8. 中央仕切板
9. 後部仕切板
10. 前部座席
11. 中央座席
12. 操縦桿
13. 爆撃照準器
14. 弾倉箱
15. 酸素ボンベ
16. 後部座席
17. 水平尾翼 (右)
18. 水平尾翼 (左)
19. 胴体前部
20. カウルフラップ
21. エンジン (後)
22. エンジン (前)
23. 潤滑油リング
24. プロペラシャフト
25. カウリング
26. プロペラ
27. 调速器
28. 主脚柱 (左)
29. 主脚柱 (右)
30. 主車輪
31. 主車輪
32. 主脚カバー (左)
33. 主脚カバー (右)
34. オイルクーラー
35. 機銃座
36. 機銃
37. アンテナ
38. ビトー管
39. 尾輪
40. 着艦フック (不用)
41. 魚雷 (上)
42. 魚雷 (下)
43. スクリュー
44. 排気管 (2)
- 《透明部品》

6 風防の取り付け



■機銃を取り付けるときには、
風防を点線の位置で切って
下さい。

家庭用品品質表示法による接着剤品質表示
取扱い上の注意 1. 幼児の手の届かないところに保存し、
いたづらをしない様注意して下さい。
2. 水気には濡しぬれを防ぐため、よくして下さい。
3. 放棄に投じない様注意して下さい。
表 示 者 SZ 3000 SZ 3006 SZ 5013